

実技合格レッスン（言語・造形）5つの特徴

1、無駄なことはやりません

たとえば「言語」なら、保育現場で役立つ幅広い話し方の技術を学ぶのではなく、「どうしたら加点されるか」という割り切った視点で進めます。そのため、少ない受講回数で合格レベルに達する方もいます。早くに合格レベルに達した方は、必要以上に通って頂かなくても大丈夫です。

2、基本は個別指導です

レッスン初回に「実技試験を受けるにあたり」という授業があります。これは、受験者全員受けて頂きたい内容です。それ以降は、基本的に1対1の時間を多く作り、一人一人に合った丁寧な指導をしていきます。

（一部小グループ指導も有）

3、キッチリ採点します

学科試験終了から実技試験までたった2か月しかありません。計画的に進めていくには、「今の実力で何点が取れるか」、「どこを改善したら何点になるのか」、そういった目安は知っておく必要があると考えています。そのため、口頭でも随所でお伝えしていきますし、模擬試験においても点数を示します。当レッスンでは、あなたの実力をあいまいにしません。

なお、採点方法は保育士実技試験の概要の「実践上必要な知識、技能、資質の観点」を踏まえ、過去受験者の技術レベルに対する採点結果などを総合した、独自の分析によります。また、「言語表現」では、平成30年（前期）から新しいお話が選択肢に加わりましたが、こちらの新課題対策も万全です。

4、メンタルもフォローします

試験当日、「音楽」では、緊張のあまり歌声が裏返ってしまったとか、「言語」では、隣の部屋から漏れる声を聴いているうちに頭が真っ白になってしまったとか、「絵画」では、手が震えて5分くらい何も描けなかったとか、受験者から試験会場の雰囲気や経験談を多数聞いてきました。そのため、講師陣は、緊張も含め試験で起こりうる様々なことを想定しております。安心して当日を迎えられるよう、実力が発揮できるよう、フォローします。

5、実技試験のこと、何でも質問に応えます

「こんなこと聞いてもいいのかな」と思う、小さな疑問に何でもお応えします。受験者からは、どの講師も優しい・わかりやすいと嬉しい声を毎年頂きます。気軽に聞いてください。

